

# ・真木千秋展 インド「ガンガ」より

2014年1月18日・土 — 1月26日・日

OPEN 11:00-18:00 | 定休日 22日(水)



「手が知っていること」

gangaがはじまってもうじき5年、私も年間約半分の月日、ganga工房でのものづくりに費やしてきました。四半世紀もの間インドで織ものを作り続けてきて、今も日々驚かされることがたくさんあります。

工房では手の仕事は無限大で、普通に考えるとやらないことやできないことがあります。「手」でやればできることをなんでもやる、それが工房の姿勢です。畑を耕し、農作物を育て、その恵みをいただくのととても似ている、おいしい作物をつくる為に生まれる知恵、器用な手。

経験の積み重ねや手から手に受け継がれるもの、自然に近ければ近いほどわかること。手は知っているかのようにうごいている。

染織もまた暮らしの中でどんどん進化し、毎日素材と向き合い、生かすことでさらに美しく、心地よくなることを感じます。

そのようにして日々新しい風合いが生まれつつあります。

まきちあきより

「手」でやればできることをなんでもやる、それが工房の姿勢です。手は知っているかのようにうごいている。

真木さんのこの文章を読んで、ものづくりの枠を超え、人間の営みというものの根幹に、より近づいているように思えた。

日本で、そしてインドでさえもその手が失われつつあること、けれども手が知っていること。

そこから生まれてくるものは、本当は大変なものなのです。

それなのに真木さんを通すと、私でも気軽に身にまとうことができる。

それがまた素晴らしいことなのだと感じます。

菜の花店主・たかはしいち



うつわ菜の花

小田原市南町1-3-12 電話 (0465) 24-7020

小田原駅東口より箱根方面へ向かうバス利用[箱根口]バス停下車徒歩3分

・次回ご案内 3月29日(土)~4月6日(日) 辻文夫展(絵) / 箱根菜の花展示室  
<http://utsuwa-nanohana.com/>